

製材品の強度を原木段階で予測する

当センターでは、京都府立大学などと協力しながら、製材品の強度を原木段階で簡便に予測する手法の開発を行っています。

これまでの調査で、予測手法開発に必要な原木の強度や、柱サイズの製材品の強度データは得られていますが、梁、桁^{はり}^{けた}※用など太い部材の強度データは十分ではありません。

そこで、あらかじめ強度測定した原木から製材された梁、桁用部材の強度調査を実施して、データの蓄積を図っているところです。

今後、強度測定済という付加価値を持たせた原木の販売につなげることで、木材生産者の所得向上に寄与できると考えます。

※梁、桁…木造住宅において柱の上に水平に渡す部材のこと。



梁桁用製材品の強度調査風景